

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		岩瀬桜川運動公園管理運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020402000087
						単独/補助	単独		090501
政策体系上の位置付け								所属課	スポーツ振興課
政策	総合計画の施策名	O204 生涯スポーツ活動の振興						課長名	
策	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり						グループ	スポーツ振興G
体	施策名	04 生涯スポーツ活動の振興						担当者名	
系	手段名	02 ②快適な施設利用の推進							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	06	02	04	00	単年度繰返し (昭和55年度~)		
							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		
法令根拠	桜川市体育施設設置及び管理に関する条例								
[Do]	1. 事務事業の現状把握(その1)								

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
所在 桜川市磯部437 テニスコート4面・野球場1面	施設の維持管理・委託契約・安全管理・貸出 公衆トイレの点検掃除(週1回)
市民がスポーツを実践する活動拠点となる体育施設の管理・運営を行う。 (事務事業の手段) 桜川市が管理運営する事業である。管理運営には、市職員2名と臨時職員4名が従事している。運動公園の利用にあたっては、利用者は所定の申請書を提出し、許可された日時で利用することが出来る。利用者からは減免に該当しない団体においては使用料金を徴収している。	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
施設の維持管理・委託契約・安全管理・貸出 公衆トイレの点検掃除(週1回)	貸出日数	日	262.00	273.00	300.00	300.00	300.00
	保守点検件数	件	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
市民	人口(常住人口)	人	39,122.00	38,422.00	37,852.00	37,282.00	36,712.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
市民のスポーツ活動の促進・体力づくり・健康づくり	利用者数	人	21,277.00	3,926.00	25,000.00	25,000.00	25,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	21	24	24	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	2,540	2,832	2,832	
	事業費計(A)	千円	2,561	2,856	2,856		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	03年度事業費 実績(千円)			04年度事業費 予算(千円)		
	10 需用費	394		10 需用費	394	
	11 役務費	43		11 役務費	43	
	12 委託料	536		12 委託料	536	
	13 使用料及び賃借料	1,843		13 使用料及び賃借料	1,843	
	15 原재료費	40		15 原재료費	40	
	合計	2,856		合計	2,856	

事務事業名	岩瀬桜川運動公園管理運営事業	事務事業No.	20402000087	所属課	スポーツ振興課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
岩瀬桜川運動公園の建設に伴い、昭和55年度から施設の利用が開始された。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
軟式野球専用球場として市内の社会人野球や少年団活動に利用されている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 運動場の維持管理を行い、市民がスポーツを楽しむことができるようになることで、「生涯スポーツ活動の推進」「市民がスポーツを通じて健康で明るい豊かな生活が出来る」に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民が市内にある施設を利用できることは利便性が高く、スポーツを楽しむ機会と体力づくりと健康増進につながり、税金を投入するのは妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 老朽箇所があり、市民が安心して利用するための安全確保を保ちながら管理を行っているので向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民がスポーツを実践する機会が失われる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業なし
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 現在でもほとんど事業費をかけていない。維持管理のための常駐者はいない。老朽箇所改修のための事業費を要求しているところである。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 受益者負担の原則に基づき見直しを行い、公平性が確保されている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	老朽化に伴い、修繕箇所が増加している													
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
成果	向上													
	維持			○	×									
	低下		×	×										
(6) 事務事業優先度評価結果	成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>